

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道6号 仙台東部道路 <small>とうぶ</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局 東日本高速道路株式会社
起終点	巨理IC～仙台空港IC 自：宮城県巨理郡巨理町逢隈中 泉 <small>わたりぐんわたりちようおおくまなかいずみ</small> 至：宮城県名取市本郷 <small>なとりしほんごう</small> 仙台東IC～仙台港北IC 自：宮城県仙台市若林区六丁目 <small>せんだいしわかばやしくろくちようめ</small> 至：宮城県仙台市宮城野区中野 <small>せんだいしみやぎのくなかの</small>			延長	10.7km
事業概要	常磐自動車道は、東京都練馬区を起点とし、南東北の太平洋沿岸の主要都市を経て、宮城県仙台市に至る延長約350kmの高規格幹線道路である。 仙台東部道路は、常磐自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路であり、常磐自動車道の一部として機能し、東北縦貫自動車道、仙台南部道路、仙台北部道路と一体となって、仙台都市圏の自動車専用道路環状ネットワークを形成し、経済・産業基盤を支え、東北地方の物流拠点である仙台塩釜港の利便性向上、交通混雑の緩和等を目的とした道路である。				
S61年度事業化		H8年度都市計画決定		H2年度工事着手	
全体事業費	1,017億円	事業進捗率	91%	供用済延長	10.7km (8.5km4/4) (2.2km2/4)
計画交通量	31,200台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 2.6 (残事業) 1.9	(残事業)/事業全体 84億円/1,454億円 事業費：79億円/1,401億円 維持管理費：5.5億円/53億円	(残事業)/事業全体 162億円/3,734億円 走行時間短縮便益：127億円/2,761億円 走行経費減少便益：23億円/742億円 交通事故減少便益：12億円/231億円	平成23年	
感度分析の結果	【全体事業】交通量変動：B/C=2.9～2.2(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=2.5～2.6(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=2.5～2.7(事業期間 ±20%)				
事業の効果等	・物流効率化の支援 （特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス性向上が見込まれる） ・都市の再生 （仙台都市圏自動車専用道路環状ネットワークの一部を形成する） 他11項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	○仙台市長の意見 継続実施に異議はありません。 当該道路は今回の東日本大震災において、「命の道」「復興支援道路」として重要な役割を果たしているほか、輸送拠点である仙台空港や仙台塩釜港（仙台工区）を結ぶ重要な路線であり、より一層の整備促進をお願いいたします。 ○以下の団体等から、仙台東部道路の整備促進について要望あり ・宮城県知事 ・仙台市長 ・仙台都市圏広域行政推進協議会（仙台市長 他13団体）				
事業評価監視委員会の意見	対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・仙台港背後地土地区画整理事業（H3～） ・仙台都市圏環状ネットワーク完成（H21～） ・東日本大震災後、交通需要も増大し、復興復旧に向けて重要な路線				

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率 91% (うち用地進捗率 100%)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後の橋梁等構造物の設計・施工にあたり、新技術・新工法を活用しコスト縮減を図る。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。